

**令和元年度
福島県地域創生総合支援事業
（サポート事業）
県南地方実績報告書**

福島県県南地方振興局

■ 一般枠

- ① 県南地方狛犬の里づくり（福島県県南地方狛犬ネットワーク）〔白河市〕
- ② 芭蕉白河の関俳句賞事業（芭蕉白河の関俳句賞実行委員会）〔白河市〕
- ③ 白河市大信地域田舎体験都市交流事業（白河市大信地域交流促進協議会）〔白河市〕
- ④ 「聖ヶ岩ふるさとの森」聖坊の思い継承事業（聖ヶ岩ふるさとの森を守る会）〔白河市〕
- ⑤ ゴルフでしらかわを活性化するプロジェクト（NPO 法人ゴルフタウンしらかわ）〔白河市〕
- ⑥ にしごう祭り（にしごう祭り実行委員会）〔西郷村〕
- ⑦ うつくしま絆づくりプログラム（うつくしま絆づくりプログラム実行委員会）〔矢吹町〕
- ⑧ 夢を Hug くむ街、しらかわ（白河商工会議所青年部）〔白河市〕
- ⑨ しらかわにぎわいプロジェクト（しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会）〔白河市〕
- ⑩ ふくしま県南地元企業説明会（ふくしま県南地元企業説明会実行委員会）〔白河市〕
- ⑪ 風評払拭！ふくしまで農活（表郷いいもの開発協議会）〔白河市〕
- ⑫ 白河ふれあいマーケット（公益財団法人白河観光物産協会）〔白河市〕
- ⑬ まるごと白河 2019（まるごと白河実行委員会）〔白河市〕
- ⑭ しらかわ地域文化継承事業（白河まつり振興会）〔白河市〕
- ⑮ ご当地アイドルによる県南地域活性化事業（矢吹町バンド連合会）〔矢吹町〕
- ⑯ はなわのダリアフェスティバル（一般社団法人塙町観光協会）〔塙町〕（過疎・中山間）
- ⑰ はなわ代官にぎわいづくりプロジェクト（はなわ代官にぎわい座）〔塙町〕（過疎・中山間）
- ⑱ 横浜住民との双方向交流による産業活性化プロジェクト
（矢祭町農業法人会）〔矢祭町〕（過疎・中山間）

■健康枠

- ⑱ 高齢者の筋肉づくり講座（矢祭町）[矢祭町]
- ⑳ 西郷村健康増進事業（西郷村）[西郷村]
- ㉑ お年寄り元気健康まちづくり事業（矢吹町）[矢吹町]
- ㉒ 強く逞しくなろう！生きるとは未来を学ぶこと！
(公益社団法人白河青年会議所未来育成委員会) [白河市]
- ㉓ 「しらかわの里山」魅力発信事業（しらかわ里山ネット）[白河市・西白河郡・東白川郡]
- ㉔ 健康地域交流体験教室（一般社団法人あんだんて）[白河市]

■地域創生・市町村枠

- ㉕ 総合結婚支援復興事業（「ふれあい」の場創出事業実行委員会）[白河市・西白河郡・東白川郡]
- ㉖ 中小企業・小規模企業人手不足解消及び新産業創出事業（白河市）[白河市]
- ㉗ 復興元気発信！やぶき体育祭り開催事業（矢吹町）[矢吹町]
- ㉘ わくわく棚倉城食フェスタ（棚倉町）[棚倉町]
- ㉙ 埴町サイクル・ツーリズム推進事業（埴町）[埴町]
- ㉚ 里山と星空の魅力パワーアップ事業（鮫川村）[鮫川村]
- ㉛ 東白川地方自転車活用推進事業（東白川サイクリング推進会議）[東白川郡]

■地域活力創造・チャレンジ枠

③② 高齢者への移動販売及び、首都圏イベントでの地場産品 PR 事業

(特定非営利活動法人表郷ボランティアネットワーク) [白河市]

③③ もっちり (持ち寄り) ば～ばのパラダイス and マルシェ

(農村女性高齢者生きがいづくり支援の会) [鮫川村]

(1) 県南地方狛犬の里づくり

一般枠

新規

【実施団体名】 福島県県南地方狛犬ネットワーク(白河市)

事業の目的

県南・県中地方において、明治時代に活躍した小松利平、小松寅吉、小林和平の子弟三代石工が制作した狛犬は、他に類を見ない独創的なデザインで近年注目が集まっている。そこで、狛犬を観光資源として広く PR し交流人口の拡大を図るとともに、歴史的文化財として保存活動の意義を高め後世に伝承する。

事業の内容

事業内容：

- 狛犬セミナー
- 狛犬見学会
- 狛犬及び石造物見学マップの作成
- 狛犬案内人養成講座

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	781
補助金	-	-	514

< 狛犬見学会 >



< 狛犬案内人養成講座 >



事業の成果・効果

- 狛犬セミナーには 300 名の来場者数があり文化財及び観光資源としての価値を認識することができた。
- 狛犬マップの作成により、県南地方の歴史的文化財を後世に伝え、全国の愛好者に情報発信するツールを獲得した。(中島村では川田神社の狛犬が村文化財に指定、地元小学校では本会員が講師を務め、各神社の狛犬・石造物などの総合学習が行われた。)

今後の展開等

- 狛犬等石造物見学者の増加に応じた案内人の育成
- 案内人用のガイドブックの作成
- 事業収益等による財源の確保

(2) 芭蕉白河の関俳句賞事業

一般枠

新規

【実施団体名】 芭蕉白河の関俳句賞実行委員会(白河市)

事業の目的

松尾芭蕉が白河を訪れて 330 年の節目の年に、多くの風流人が憧れた歌枕の地「白河」を題材とした俳句を募集した文芸賞を開催する。地域の文化芸術資源を再確認し、文芸文化の向上を図るとともに、歴史・史跡等を全国に PR することで交流人口の増加に寄与する。

事業の内容

事業内容：

- 俳句の募集
- 俳句教室の開催
- 作品選考
- 受賞者発表、表彰式、講演会

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	1,443 (907)
補助金	-	-	602

< 俳句教室 >



< 表彰式 >



事業の成果・効果

- 白河の子ども達に、白河が俳句に非常に縁深いまちだとしっかり認識してもらえた。
- 県内にとどまらず、日本全国から、また外国人からの応募もあり、俳句をとおした市の PR として大きな成果となった。

今後の展開等

- 俳句賞及び俳句教室を継続して開催し、市のイベントとして定着させる。
- 観光と組み合わせ、俳句による交流人口の増加を図る。
- 投句料を徴収するなどの財源の確保を図る。

(3)白河市大信地域田舎体験都市交流事業

一般枠

新規

【実施団体名】 白河市大信地域交流促進協議会(白河市)

事業の目的

少子高齢化による産業の担い手不足の解消と東日本大震災の風評被害払拭を図るため、白河市大信地域の「農・食・自然・文化」等の資源を生かし、都市との交流や新たな魅力を創造することで、交流人口の拡大や地域産業の活性化を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 商品開発・販路開拓啓発活動事業
 - ・加工品の開発・商品化
 - ・首都圏での販路開拓調査及び分析検討
- 地域産品活用による「食」の提供と農村体験ツアー
 - ・首都圏からの体験モニターツアー
 - ・民泊推進受入育成研修 ・インバウンド訪日外国人受入に対する基盤整備

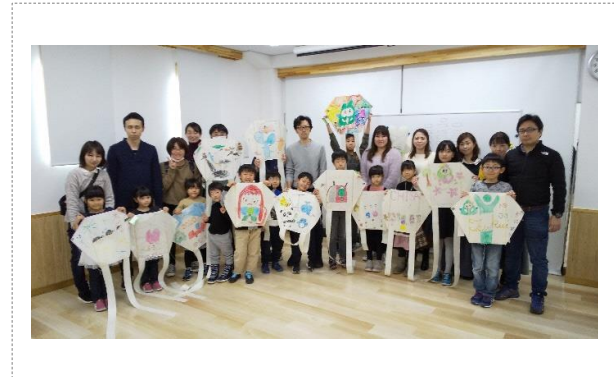
総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費			2,726
(補助対象)	-	-	(2,590)
補助金	-	-	1,623

< かやの実クッキー試作品 >



< 雪遊び体験・凧つくり体験ツアー >



事業の成果・効果

- 試作品やパッケージデザインの題材ができ、今後の商品づくりに繋がった。
- 新たな地域で販路開拓事業を行ったことにより、地域の産品や加工商品の認知度が向上した。
- 都市交流により、地域の文化や歴史等の再認識の機会となった。

今後の展開等

- 農産物生産者・商工業者が協働した物産イベントを開催する。
- 本格的なツアー受け入れに発展させる。

（４）「聖ヶ岩ふるさとの森」聖坊の思い継承事業

一般枠

新規

【実施団体名】 聖ヶ岩ふるさとの森を守る会(白河市)

事業の目的

白河市の最西北端に位置し、平安時代、徳一僧の弟子といわれる聖坊（ひじりぼう）が祠に入り、地域の五穀豊穡と活性化を祈願したことから「聖ヶ岩」と名付けられた当地において、地域資源の活用や再発見を行う事業を展開し、聖坊の思いを継承した地域の活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

- 権太倉山へ鞍上げ事業
- 「紫陽花ロード」復活事業
- 聖の宝さがし事業
- 「聖ヶ岩ふるさとの森」写真展
- 地域の安全で美味しい食材&澄んだ空気を丸ごと事業

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	919 (906)
補助金	-	-	578

< 「権太倉山へ鞍上げ事業」作業状況 >



< 「聖ヶ岩ふるさとの森」写真展 >



事業の成果・効果

- 紫陽花ロードの復活、権太倉山への鞍上げにより、地域の魅力が高まった。
- 「聖ヶ岩ふるさとの森」写真展の来場者の多くが、雄大で美しい景観に感銘し、またこれにより施設の認知度がアップした。

今後の展開等

- 紫陽花ロードの継続
- PR、情報発信の工夫
- たたら製鉄の再現
- ツリーライティングの整備

(5) ゴルフでしらかわを活性化するプロジェクト

一般枠

新規

【実施団体名】 NPO 法人ゴルフタウンしらかわ(白河市)

事業の目的

首都圏からのアクセスに優れ、費用も安価であるなど、プレー環境に恵まれている県南地方のゴルフ場を広く PR するため、SNS を活用した情報発信を行うとともに、県南地方におけるゴルフ人口増加につながる取組を行なうことで、「ゴルフタウンしらかわ」を広くアピールし交流人口の拡大を図る。

事業の内容

事業内容：

- ゴルフタウンしらかわ PR 事業
(PR 動画作成・発信、首都圏イベントでの PR 等)
- スナッグゴルフ体験会の開催

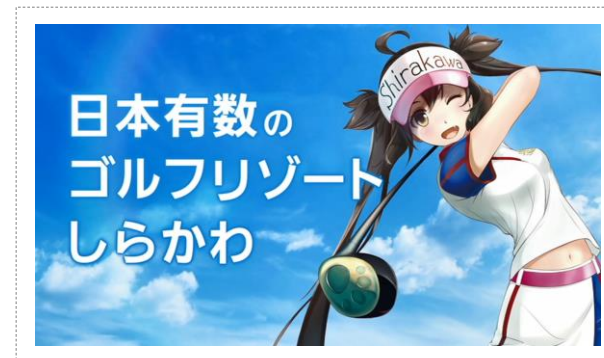
総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	1,611
補助金	-	-	969

<PR動画作成>



<PR動画作成>



事業の成果・効果

- PR 映像、ポスター、チラシを作成し、新白河駅構内のモニターを活用し PR 活動を実施した。
- 「ふくしまゴルフプロジェクト」が全県的な事業として、ゴルフを通じた地方創生に向けて本格的に動き出した。

今後の展開等

- スナッグゴルフ普及と指導者の育成。
- ゴルフ・観光・物産を連携させた対外的な PR を展開し、交流人口の増加を図る。

(6)にしごう祭り

一般枠

新規

【実施団体名】 にしごう祭り実行委員会(西郷村)

事業の目的

東日本大震災に伴う風評被害の払拭と、減少した観光客の回復を図るだけでなく、西郷村における課題である人口増加に起因する地域や人のつながりの希薄化や、村内企業の人手不足解消を目的に、平成30年6月にオープンした「まるごと西郷館」にて、特産品の販売や地域の産業体験、企業PR、文化団体による発表等を行うイベントの開催や、SNSを活用した地域の魅力発信事業を実施する。

事業の内容

事業内容：

- にしごう祭り
- にしごうフォトコンテスト 応募実績 329点(39人)

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	5,296
補助金	-	-	3,007

< にしごう祭り開催宣言 >



< にしごう祭りの来場者 >



事業の成果・効果

- 西郷村中心の「まるごと西郷館」にて開催したので、村内の来場者が増え、のべ2万人程度の来場者数になった。
- まるごと西郷館・出店ブース・近隣商店で通常よりも売上が上がり経済効果があった。
- 子どもを介して親同士の交流が生まれている。

今後の展開等

- 子供たちが地元企業に魅力を感じられるよう、地元企業PRブースの充実
- 親子が集う祭りの継続

(7)うつくしま絆づくりプログラム

一般枠

新規

【実施団体名】 うつくしま絆づくりプログラム実行委員会(矢吹町)

事業の目的

移住者が子どもを含む地域住民や光南高校生とともに、陶芸教室などの芸術文化活動を行うことで、移住者間のネットワークの形成や地域住民との交流を促進させるとともに、子ども達や高校生が地域を知る契機とすることを旨とする。

また、移住者を対象に地域を巡るツアーを開催し、地域を知る機会を創出するとともに、移住者目線の地域の魅力の発見を図る。

事業の内容

事業内容：

- アートスクール（漆芸、陶芸、絵画教室、作品展）
- 矢吹町移住者による地域のお宝発見バスツアー
- 地元産農産物と芸術を楽しむ会

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	1,283 (903)
補助金	-	-	537

< 移住者対象陶芸教室 >



< 矢吹町 お宝発見バスツアー >



事業の成果・効果

- 多岐のイベント開催により、幅広い年齢層の方々が多く参加した。
- バスツアーでは、多くの参加者が歴史や地元産業に興味を示した。
(中にはツアーで訪問した水耕栽培農家の人手不足から就職した方がいた)
- 陶芸やそば作りに興味を持った方がサークルに入会するなど、地域住民との交流につながった。

今後の展開等

- アートスクールの継続
- 活動の周知徹底
- 地域活動を支える担い手の育成

(8) 夢を Hug くむ街、しらかわ

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 白河商工会議所青年部(白河市)

事業の目的

地域の賑わい創出と交流人口の拡大を図るため、県南地方の地域資源を生かし、白河市内外の子どもからお年寄りまで、多様な世代が参加、交流するイベントを開催する。また、地域の将来を担う地元の小中高生に、地域の産品を活用した商品の企画・開発・製造・販売のプロセスを体験させることで、普段関わりのない大人たちと交流しながら、地域の魅力を伝えられる人材に成長することを促す。

事業の内容

事業内容：

- しらかわ夏祭り 2019～はじまりの夏・挑戦～
- やってみよう！ぼくらの屋台

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	4,932 (4,926)	4,020
補助金	-	2,558	2,106

事業の成果・効果

- 夏まつりは、市内外から多くの来場者を集め、中心市街地の賑わいを創出。出店ブースなどにより県南地域の魅力を広く PR できた。
- 小中高生が実際に、企画から販売まで行う「ぼくらの屋台」は保護者・学校から高い評価を受け、教育機関との協力関係を構築するきっかけとなった。

<しらかわ夏まつり 2019>



< やってみよう!ぼくらの屋台 販売会 >



今後の展開等

- イベントの継続開催と交流人口の増加
- 将来を担う人材育成事業のイベントと PR 活動

(9) しらかわにぎわいプロジェクト

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会(白河市)

事業の目的

独立店舗では起業が困難な人(起業家) に対し、セミナーや四季ごとに開催されるイベントに併せたチャレンジショップの開設などを通じて創業支援を行うことで、中心市街地の空き店舗で独立開業することを促し、街なかの賑わい創出を目指す。

事業の内容

事業内容：

- チャレンジショップを組み合わせたイベントの開催
- 創業支援のための勉強会やセミナー、カルチャー教室の開催
- 空き店舗を巡るツアーの開催
- SNS を通じた起業情報の発信

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	608	1,197 (933)
補助金	-	405	589

<春マルシェ しらかわんと交流イベント>



< 空き店舗ツアー >



事業の成果・効果

- イベント開催による街なかへの来訪者数の増加
- 起業家支援セミナーでは、若い起業家から体験談や販売拡大方法など実戦向きの講話を頂き、それにより受講者が起業意識をより高めることができた。
- 空き店舗ツアーを開催し、参加者 1 名が空き店舗に出店が決まった。

今後の展開等

- 様々な起業方法を実践として経験できる場を創造する。
- 「起業」のイメージを身近に感じられるよう将来の起業家のサポート

(10)ふくしま県南地元企業説明会

一般枠

継続2年目

【実施団体名】 ふくしま県南地元企業説明会実行委員会(白河市)

事業の目的

地域の将来を担う若者と地元企業とをマッチングさせる機会を創出し、雇用のミスマッチの解消による若者の地元企業への就職促進と地元企業の労働力確保を目指す。

事業の内容

事業内容：

○就職希望の高校生やその保護者を対象とした企業説明会の開催

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	1,885 (1,780)	1,824 (1,582)
補助金	-	1,046	906

＜企業ブースの個別説明＞



＜会場の企業ブース風景＞



事業の成果・効果

- 企業向け・学生向けアンケートでは、双方とも満足度が高い結果となり、地元企業も人材の確保ができた。
- 県南地域の商工会・商工会議所と、関係機関・団体が連携して実施したことにより、地域課題に対する共通テーマについて議論が深まった。

今後の展開等

- 参加実績校と地元企業への、ヒアリングと追跡調査を行い、事業成果を把握する。

（11）風評払拭！ふくしまで農活

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 表郷いいもの開発協議会(白河市)

事業の目的

首都圏在住者を対象に、「農活」と題して農業講座や農作業体験、収穫した農産物の販売を行い、県産農産物の風評を払拭や福島現状の発信、交流人口の拡大を図る。

事業の内容

事業内容：

- 農業講座（@東京）
- 農作業体験・収穫（@白河市）参加者 18 名
- マルシェ（@東京）2 日間×全 3 回開催
- 白河市の農産物を使用した弁当の製作・販売（@東京）
- 会員向け「野菜・米」の宅配実施

総事業費：

（千円）	H29	H30	R1
事業費 （補助対象）	551	500	504
補助金	296	280	280

< 東京・京橋エドグラン「マルシェ」 >



< 収穫体験 >



事業の成果・効果

- 福島産の農産物が安心・安全であることを PR し、違和感なく購入してくれる層を増やすことについて、対面での感触は良くなっていると感じられた。
- 福島の魅力(歴史や自然など)を PR、首都圏からのアクセスの良さも直接発信できた。

今後の展開等

- 個別宅配の、定期的な注文を受けられる体制の構築。
- 農業者と連携しながら、宅配内容は豊富な地域特性を生かした内容にする。

(12)白河ふれあいマーケット

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 公益財団法人白河観光物産協会(白河市)

事業の目的

白河駅前イベント広場において、6月から10月まで毎月日曜日に県南地方で収穫された野菜、果物、地場産品等を扱う生産者などにより朝市を開催することで、生産者と地域住民の交流、地産地消の推進、中心市街地活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

- 朝市「白河ふれあいマーケット」
計4回開催(6~9月) 出店者:20~25店/回 来場者:800~1,000人程度/回
- 出店者間の意見交換会
- 出店者間の交流を活かしたオリジナル商品やコラボ商品の開発・提供

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	1,486 (1,453)	1,560	1,568
補助金	779	810	757

事業の成果・効果

- お買い得な朝食(出店者コラボ朝食を2回)提供が定番化し、出店者から定期的に購入する仕組みができた。
- 毎月来場されるお客様に、オリジナルポイントカードを発行し、最終マーケットにて抽選会を開催。(台風のため延期した際、問い合わせが約100件あった。) 抽選会は300名以上もの参加者だった。

< ふれあいマーケット イベントの様子 >



< ふれあいマーケットの様子 >



今後の展開等

- 出店者・来場者双方の増加を図るための環境整備と魅力的な企画の立案・実施。
- イベントから街なかへ回遊できる仕組み作り。
- 出店者自立への方法の検討。

(13)まるごと白河 2019

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 まるごと白河実行委員会(白河市)

事業の目的

古くから市民や観光客に愛され、近年メディアでも注目されている白河ラーメンを、SNS を活用して全国に発信することで、白河市への来訪のきっかけをつくり、交流人口の拡大を図る。
また、県南地方の交流人口拡大及び観光誘客を図るため、地域の食や伝統文化、産業等が一堂に会するイベントを開催する。

事業の内容

事業内容：

- 白河魅力発信事業
- まるごと白河 2019 来訪者数:約 20,000 人

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	7,495	6,886	6,609
補助金	3,240	2,636	2,358

< 企業&技能フェスティバル >



< ステージイベント >



事業の成果・効果

- twitter のアカウントから「お気に入りの白河ラーメン」を募集し、県内外に情報拡大を図った。
- まるごと白河にて、白河の「食」（そば・ラーメン）と、地元企業や団体による「職」の体験コーナーを設け伝統文化・先端技術に触れる場を提供した。
- “山田剛嗣シェフ”と白河実業高校農業科生徒の交流会が開催され、「食材・食」の意識向上につながった。

今後の展開等

- SNS で白河の史跡名勝や食文化など観光情報を発信して、地域活性化につなげる。

(14)しらかわ地域文化継承事業

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 白河まつり振興会(白河市)

事業の目的

昭和 30 年代から踊り継がれ、震災を機に復活を遂げた「白河関の踊り流し」へ、多くの地域住民や首都圏の若者等に参加してもらったことで、地域コミュニティにおける絆づくりや交流を図るだけでなく、市内外に伝統文化を発信することを目指す。

事業の内容

事業内容：

- 白河関の踊り流しの開催
参加団体:23 団体(新規申込 3 団体) 参加者数 1,200 人
- 元気夕市の開催

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	3,122	2,891 (2,888)	2,546
補助金	1,620	1,417	1,047

< 白河踊り流しの演舞 >



< 元気夕市の出店 >



事業の成果・効果

- 一般の参加者のほかに、関東の大学生や、日独スポーツ少年団・関係者の参加により、踊り流しの魅力を発信、交流と文化の継承を図った。
- 地元商店街組織や地域特産物の出店で活性化、地域特産品の認知度向上に寄与。

今後の展開等

- 各企業・団体の新規参加促進、誘客促進。
- 多くの団体・企業・参加者に定着させ、自己資本での開催をめざす。

(15)ご当地アイドルによる県南地域活性化事業

一般枠

継続 3 年目

【実施団体名】 矢吹町バンド連合会(矢吹町)

事業の目的

県南地方のご当地アイドルを始め、県内外各地のご当地アイドルによる地域の魅力を発信するイベントの開催、SNS 等による情報発信、通信紙の配布を通して県南地方を県内外へ広く PR するとともに、ご当地アイドルメンバーの目を通した本県の状況を伝えることで、震災による風評の払拭を図る。

事業の内容

事業内容：

- 地域イベントの実施（しゅんらん春まつり、Locodle Sonic!!等）
- 県外における福島県特産品の販売・PR
- 他被災地との連携イベントの実施
- 県内における県南地域 PR

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	1,951	1,985	1,777
補助金	891	1,000	832

事業の成果・効果

- 地域イベントに来た方が、食事や観光を楽しみ SNS で拡散してくれ、再訪された。また、これをきっかけにイベントがなくても観光に訪れる方がいた。
- 県外イベントで、県南地域を広く PR するために特産品販売を行った。

<被災地連携事業（岩手県岩泉町・大船渡市）>



<TOHOKU FRIEND PARK>



今後の展開等

- ご当地アイドルを使い進化させた PR 方法で集客方法を検討する。
- 開催地の行政や商工会等団体と更なる連携を図る。

(16)はなわのダリアフェスティバル

一般枠

新規

【実施団体名】 一般社団法人埴町観光協会(埴町)

事業の目的

近年、低迷している湯遊ランドはなわダリア園の来園者数の回復を図るため、SNS やスマートフォンアプリを活用した事業を展開する等、新たなコンテンツにて「ダリアのまち」を広くPR することで、新規来園者の獲得とリピーターへの定着を目指す。

事業の内容

事業内容：

- PR 事業
 - ・はなわのダリア「Youtube」広告
 - ・ダリア園無料送迎実証運行
- イベント事業
 - ・Instagram「はなわのダリア」コンテスト
 - ・はなわアルクウォーキング「ダリアスタンプラリー」
 - ・ダリア作品ワークショップ
 - ・ダリアゼミナール
 - ・ダリアの寄せ植え教室

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	1,733 (1,495)
補助金	-	-	944

<Instagramでのコンテスト>



<ダリアの寄せ植え教室>



事業の成果・効果

- ダリアスタンプラリーの設定場所を選定する際、村内のミニダリア園が多数名乗り出てくれるなど、各々のダリア生産者の方が誇りをもって臨んだイベントとなった。
- ワークショップでの作品・ノウハウは冬季開催の「ダリアの作品展」で活用、オフシーズンの誘客に繋がりたい。

今後の展開等

- ダリアの管理運用する「埴町振興公社」との連携と体制強化を進めたい。
- イベントの開催時期や、新白河駅からの無料送迎方法の改善を図る。

(17)はなわ代官にぎわいづくりプロジェクト

一般枠

新規

【実施団体名】 はなわ代官にぎわい座(埴町)

事業の目的

埴町が抱える人口減少に伴う商店街の衰退や地域の交流機会の減少という課題に対し、町の歴史的資源である「埴代官所跡」を、誰もが気軽に集える「パブリックスペース」として整備し地域の活性化を図るとともに、地域の歴史と文化の伝承により新たなまちづくりの礎を築く。

事業の内容

事業内容：

- 「はなわ劇場」事業
 - ・多目的パブリックスペースの整備 ・代官シアター ・音楽フェスタ
- 「歴史と文化の伝承」事業
 - ・代官子育て縁日
 - ・出羽神社トレッキング健康増進計画～参道整備事業～
 - ・代官「あんちゃん」「ねえちゃん」の集い

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	1,907
補助金	-	-	1,270

事業の成果・効果

- 音楽フェスタ等、町内外(都市部含む) 応募実績からの参加者があり、埴町の知名度も高まりリピーターもいた。
- 新設した映像・音響機器によりイベントがノルタルジックな空間に演出でき、来場者に喜んでもらえた。
- フェスタ出演者のつながりで東京神田商工会への人脈が広がり今後の交流へと繋げた。

< 代官まつり in 音楽フェスタ 夜の部 >



< 「お月見どろぼう」の様子 >



今後の展開等

- 事業の継続
- パブリックスペース整備の継続
- 行政・商工会への協力要請

(18)横浜住民との双方向交流による産業活性化プロジェクト

一般枠

継続 2 年目

【実施団体名】 矢祭町農業法人会(矢祭町)

事業の目的

これまで交流のなかった横浜市の住民に対し、矢祭町でのグリーンツーリズムや、横浜市での農産物販売等を通じて、横浜市民との双方向交流と矢祭町の首都圏での知名度向上を図ることで、矢祭町産農産物の販路拡大を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 矢祭町におけるグリーンツーリズム
- 横浜市内で「矢祭マルシェ」の実施（8回実施、来客数:130~170人/回）
- 矢祭食材を使用した料理教室
- 横浜市役所での製品のPR

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	762	521
補助金	-	508	346

< 横浜での交流会 >



< 矢祭町の農作業 >



事業の成果・効果

- 横浜市民との双方向交流を実施、交流人口が増えた。
- 矢祭マルシェや横浜市役所PR販売により、矢祭産農産物の知名度と売上げが伸びた。
(個人ながら横浜市内で矢祭米を取り扱う方が出て、注文販売増に繋がった。)

今後の展開等

- 双方向交流の参加者増と継続性を図る。
(子どもたちを横浜の催事に交流参加させた。))

(19)高齢者の筋肉づくり講座

健康枠

新規

【実施団体名】 矢祭町(矢祭町)

事業の目的

地域の一般高齢者を対象に、週1回保健福祉センターにおいて、トレーニング機器を用いて運動を実施し、フレイル（加齢による体力の衰え）の予防等健康増進を図る。

事業の内容

事業内容：

- 65歳以上の一般高齢者向け通所の運動教室（栄養指導、笑いヨガを含む）
- 65歳以上の講習会修了者に、運動器具を活用した自主的運動の機会の提供

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	951
補助金	-	-	712

< コトレ石井 >



< マダヤールクラブ >



事業の成果・効果

- 移動手段のない高齢者に、参加できる社会活動の場ができたことは大きな成果となった。
- 参加者同士が、教室以外の日常生活の中で交流が活性化している。
- 健康の維持・増進につながる結果がでた。(身体機能の維持、向上者割合 75.4%)

今後の展開等

- 事業内容の改善を図りながらの継続
- 町民全体への周知徹底

(20)西郷村健康増進事業

健康枠

継続 2 年目

【実施団体名】 西郷村(西郷村)

事業の目的

普段運動する習慣がない高齢者に対し、運動を始める契機や健康に対する意識付けをし、生活習慣の改善や介護予防・健康寿命の延伸につなげ、高齢者が長く活躍できる社会の推進を図る。

事業の内容

事業内容：

- 体操などの家庭でできる運動の指導をし、介護予防サポーターを養成
- 体力測定を行い各人にあわせた運動計画により自主的な運動を促す
- 運動器の性能向上・栄養改善・口腔機能向上の運動や訓練を行う

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	3,847	5,827
補助金	-	2,884	3,971

<介護予防サポーター養成>



<健康教室>



事業の成果・効果

- 介護が必要となりそうな高齢者への送迎付いきいき教室を開催することで、外出の機会の増加、交流、運動機能の維持向上に繋がった。
- 運動教室を通じて、個々の意識の変化や運動機能の維持向上、認知症予防や自立生活の助長に繋がった。

今後の展開等

- 介護予防サポーター養成講座の実施
- 住民主体によるシニア健康教室の継続
- 高齢者の交流の場の創出と介護予防活動、健康への意識変容を促す。

(21)お年寄り元気健康まちづくり事業

健康枠

継続 2 年目

【実施団体名】 矢吹町(矢吹町)

事業の目的

概ね 50 歳以上の住民を対象に「ことぶき大学（定期的に講座を開く）」に登録してもらい、近くの公民館等で健康体操などを通して「元気づくり」、「健康づくり」を実施する。

事業の内容

事業内容：

- 「ことぶき大学」登録者数 269 名※出席は毎月ほぼ半数
- 健康講座
- 健康体操（歌体操、脳トレ、リフレッシュ体操等）
- リハビリテーション、介護予防支援
- レクリエーション、季節の行事等

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	1,752	1,732
補助金	-	1,314	1,298

<ことぶき大学開講式>



<ことぶき大学本講座>



事業の成果・効果

- 演芸発表会や音楽演奏会を本講座で実施し、練習や作品づくりを通じた活動により、健康維持増進に加えて、文化・教養等の向上に寄与した。
- 受講生から概ね満足していることが伺え、意欲的に目的意識を持って参加している姿が見受けられた。

今後の展開等

- 新規登録者の拡大と参加者の増加を図る。
- 魅力ある講座内容の実施と交通手段の確保、さらなる工夫が必要。

(22)強く逞しくなろう！生きるとは未来を学ぶこと！

健康枠

継続 2 年目

【実施団体名】 公益社団法人白河青年会議所未来育成委員会(白河市)

事業の目的

県南地方の小学生を対象に、様々な体験を通して交流と気づき・学びを得て、健康な心身を育てる機会とし、情操教育・食育・健康増進につなげる。

事業の内容

事業内容：

- 心身の健康及びと野外活動に関する勉強会
- 登山・沢登り体験
- 調理体験
- 自然体験（地域の自然観光資源とふれあう）
- 野遊びの手法を体験

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	935	1,307
補助金	-	610	823

<登山・沢登り体験>



<クリーンアップトレッキング>



事業の成果・効果

- 県南地域の参加児童同士が、魅力ある自然の中での様々な体験を通じ、絆や友情を育む機会となり、世代や地域にとらわれない郷土愛の醸成にも繋がった。
- 地域の自然観光資源の周知、及び有効利用にも繋がり継続事業の有用利用に繋がった。

今後の展開等

- 子ども達に失敗・成功体験をもとに何事にもチャレンジすることを学べる事業
- 広報計画に力を入れ、効果的な募集方法を検討する。

(23)「しらかわの里山」魅力発信事業

健康枠

継続 3 年目

【実施団体名】 しらかわ里山ネット(白河市・西白河郡・東白川郡)

事業の目的

森林等が持つ多面的な機能の活用を図るため里山整備を進め、県内外の人々を里山に呼び込むとともに、「見て歩いて食べて」を体感していただき、心身の健康増進と地域振興につなげる。

事業の内容

事業内容：

- 里山トレッキング(参加者 35 人) 及び 写真教室(参加者 25 人)
- 里山スタンプラリー
- 里山写真コンテスト(応募 80 点、来場者数:約 100 名)

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	862	1,015	1,047
補助金	574	676	697

<写真教室>



<里山トレッキング>



事業の成果・効果

- 健康増進と地域振興の観点から、里山スタンプラリーは大きな事業成果があった。
 - ・台紙を持ち帰った人:1500 人以上
 - ・4ヶ所のスタンプを押して温泉施設で割引特典を利用した人:190 人
(190 人の中で抽選を行い、10 名の方に記念品を贈った)
- 前年からの PR で認知度があり、遠方の写真愛好家からコンテストの応募があった。

今後の展開等

- 自然豊かな里山で運動不足の解消をねらう「親子スタンプラリー」の実施
- 写真コンテストの継続
- 里山ネットとして活動する上で加盟団体を募り、県南地域を網羅する団体にしたい。

(24)健康地域交流体験教室

健康枠

継続 3 年目

【実施団体名】 一般社団法人あんだんて(白河市)

事業の目的

県南地域に居住する高齢者を対象に、自立、コミュニケーション能力の向上を通して心身の健康を図る。

事業の内容

事業内容：

- シニア向けに身体に負担の少ない健康体操などを実施
- 脳の活性化のため、音楽・読み・書き・作業等を実施
- 文化体験やイベント情報などのコミュニティ新聞を作成

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	2,040	2,850	3,605
補助金	1,360	1,900	2,370

< 大人のぬり絵教室 >



< パーソナルカラー診断 >



事業の成果・効果

- 「体力の向上」「脳の活性化」「感受性を磨く」を課題にした教室を開催し、年間のべ 2,400 名を超える参加者があった。
- シニアたちが生きがいを持ち、体力向上の実現と地域内でのコミュニケーションの活性化につながっている。

今後の展開等

- 地域団体や事業所、住民とのつながりを強化し、バックアップを得ながら教室開催の継続をする。

(25)総合結婚支援復興事業

地域創生・市町村枠

【実施団体名】 「ふれあい」の場創出事業実行委員会(白河市・西白河郡・東白川郡)

継続 2 年目

事業の目的

地域の人口減少及び地域経済縮小の要因のひとつとなっている未婚化・晩婚化の解消と、東日本大震災からの復興を加速させる人材の定着を目的に、県南地方の独身男性を中心に総合結婚支援事業を行う。

事業の内容

- 事業内容：
- 「総合結婚支援イベント」の開催
 - ・6回開催 のべ240人参加(うち52組カップル成立約46%)
 - 企業間婚活イベントの開催
 - 結婚支援者「世話やき人」育成事業の開催
 - ・1回開催 37人参加
 - イベント前独身者向けセミナー・相談会の開催

総事業費：	(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)		-	7,067	6,924
補助金		-	4,917	4,955

事業の成果・効果

- 支援者の育成が順調に進んでいる
(「世話やき人」を昨年に続きPRに努めた結果、3名の登録があった)
- 独身者の要望に答え、イベントを4回から6回に増やした結果、参加者増となり良い結果を残すこととなった。(カフェで開催したところ、参加しやすい雰囲気よかったと好評だった。)

<大人のプレミアム婚活>



<ご縁さがしバスツアー>



今後の展開等

- 参加者アンケート、スタッフ反省を活かした事業の継続
- 成婚実績の把握

（26）中小企業・小規模企業人手不足解消及び新産業創出事業

地域創生・市町村枠

新規

【実施団体名】 白河市(白河市)

事業の目的

「わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業」等を活用し、地域の中小企業の人出不足を解消するとともに、「白河市創業者支援施設らくり」を活用した創業や事業承継の推進により産業の新陳代謝を促進することで、地域経済の活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

- 中小・小規模企業人手不足解消
 - ・首都圏イベント出展や大学等への PR
 - ・LINE@を活用した PR
- 「白河市創業者支援施設らくり」を活用した創業支援
 - ・伴走型創業支援の実施
 - ・イベントやセミナーの開催
 - ・利用促進パンフレットの作成

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	7,419
補助金	-	-	5,564

＜創業者支援イベントの様子＞



＜白河市創業者支援施設らくり＞



事業の成果・効果

- 創業に必要な知識を習得するための「創業応援塾」を開催し、創業希望者や経営者のより具体的・専門的な個別相談に応じた。また、情報交換の場となる「創業者ネットワーク交流会」を開催した。
- UIJ ターンの促進用チラシの作成を行い、首都圏でのイベントや大学に訪問し地元企業の情報提供を行った。

今後の展開等

- 地元企業の基盤強化や起業・創業者等の支援が重要であるため、国の施策や創業支援機関と連携しながら、更なる創業の推進に取り組む。

(27)復興元気発信！やぶき体育祭り開催事業

地域創生・市町村枠

継続 2 年目

【実施団体名】 矢吹町(矢吹町)

事業の目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、町出身のオリンピックと連携した「やぶき体育祭り」を開催することで、東日本大震災からの復興及び観光振興を推進し、賑わい創出と風評払拭を図る。

事業の内容

事業内容：

- 野球・ソフトボールなど各種競技会の開催 「やぶき体育祭」参加者数:2,383人
- 中畑清旗ソフトボール大会（中畑清アテネオリンピック出場記念）
- さわやか健康マラソン大会（千葉麻美北京オリンピック出場記念）

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	3,655	1,600
補助金	-	2,741	1,199

<中畑清旗争奪ソフトボール大会>



<町民グランドゴルフ大会>



事業の成果・効果

- 早期に関係機関との調整をとり、ポスター・チラシ・SNSでPRできたことが来場者の増加に繋がった。
- 中畑清旗ソフトボール大会及びさわやか健康マラソン大会には県外からも出場があり、認知度の上昇を実感し、交流人口の拡大と地域振興等に寄与することができた。メディアによる情報発信もあって矢吹町の魅力を大きくPRすることができた。

今後の展開等

- 町民体育祭に若い年齢層の参加が少ない。今後は町内外のイベントや団体等と連携し、体を動かす楽しさを知ってもらい、多世代交流を図りたい。
- 熱中症等に考慮し、参加者・関係者の安全面を最優先に考え、効率的かつ効果的な事業展開を行う。

(28)わくわく棚倉城食フェスタ

地域創生・市町村枠

継続 2 年目

【実施団体名】 棚倉町(棚倉町)

事業の目的

震災及び原発事故に伴う風評被害で減少した観光客の回復及び交流人口の増加を図るため、棚倉城跡国史跡指定を迎える棚倉城跡において、町の歴史・文化遺産を活用した観光 PR、地元農産物や特産品の販売、生産者との交流を行うイベントを開催する。

事業の内容

事業内容：

- わくわく棚倉城食フェスタ 10/27(日) 来場者数 1,000 人
- 棚倉城跡を中心に、歴史文化遺産を活用した観光 PR
 - 地元特産品等の PR ブルーベリーカレー大食い大会 ゲスト「はらぺこツインズ」
 - 友好都市である川越市民との交流
 - 町内を巡るスイーツウォーキングの実施

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	9,489	8,858
補助金	-	7,116	6,644

< オープニングイベント >



< 本丸エリア出店ブース >



事業の成果・効果

- 地元特産品を利用したステージイベントを開催。ゲストに You tube で人気の「はらぺこツインズ」を招いたことでファンが SNS で情報拡散し、来場が増え棚倉町を PR でき、交流人口の増加に繋がった。
- 人気のある有名なお当地グルメブースを多数設置し、スイーツウォークを同時開催したことで効率の良い集客ができた。

今後の展開等

- 周辺地域のイベントを調査し、活用できる部分は積極的に取り入れる。改善点の解消に努める。
- 棚倉町の食材を使用した「ご当地グルメ」の開発や食とコラボしたイベントを企画し、地域活性化の一つとして PR していきたい。

(29) 埴町サイクル・ツーリズム推進事業

地域創生・市町村枠

新規

【実施団体名】 埴町(埴町)

事業の目的

平成 28 年から行っているウォーキング主体の観光施策の課題であった、中心市街地以外の地域の活性化を図るため、サイクリングやポタリング及びそれらに付随した運動等を生かしたコンテンツづくりの調査をする。また、山間部を活用したロードレースや周辺でのイベントの実施など、埴町の地形を生かしたサイクル・ツーリズムを導入することで、町全域の観光振興を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 外部コンサルティングによる現地調査
- サイクル・ツーリズムに関連したコンテンツ作成
- 町内施設による利用者の状況の調査
- 自転車ロードレースの開催

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	8,051
補助金	-	-	5,989

<ツール・ド・はなわ>



<ポタリングはなわ>



事業の成果・効果

- イベント会場周辺の住民との話し合いを重ねて事業への理解が深まり、開催当日も参画して頂き、参加者からも高評価を得た。(地元住民より参加者へ手旗による応援や、豚汁をふるまって頂いた)
- 事業を通じて郡外の有識者はじめとする様々な人々とのつながりができ、自転車活用推進を通じた地域振興の大きな力になると思われる。
- ロードバイクによるヒルクライム、マウンテンバイクによるアドベンチャーツーリズムで、埴町と他地域の差別化が計れるとわかった。

今後の展開等

- 事業継続を担うため、官民が連携した組織づくりが急務と考える。
- 住民向け・お客様向け、各々にあった事業を展開し、地域住民の自転車活用推進に対する理解を深めたい。

(30)里山と星空の魅力パワーアップ事業

地域創生・市町村枠

継続 2 年目

【実施団体名】 鮫川村(鮫川村)

事業の目的

阿武隈高原の頂上に位置し、人々の心に癒しを与える鮫川村の里山の景観を維持する担い手を確保するため、都市住民等を対象にした都市農村交流を行うとともに、きれいな星空が見える鹿角平観光牧場にある天文台の運営を担う人材を育成するための講座を実施することで、地域資源を生かした観光振興と新たな仕事づくりを図る。

事業の内容

- 事業内容：
- 大学生を中心に都市住民による農林業の体験（助っ人体験）
 - 村民を対象にした担い手育成講習会（担い手育成）
 - シルバー人材センターを活用した里山整備
 - 天文インストラクター養成講座 **2名登録**
 - 星景写真撮影教室
 - 星空 PR 事業

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	8,427	8,581
補助金	-	6,741	6,974

< 担い手育成講習会 >



< 天文インストラクター養成講座 >



事業の成果・効果

- 鹿角平天文台で「星景写真撮影教室」を開催。受講者自らが SNS を活用し、タイムラプス映像を発信するなど、鮫川村の星空と里山の魅力を PR できた。
- 各事業の展開により、村外の来訪者が再訪されることが多数あった。村内宿泊施設や商業施設の利用が図られ、関係人口の増加に繋がった。

今後の展開等

- 担い手育成の事業展開、里山景観の維持につながる取り組みを行い、関係人口の増加を図る。
- 星空を中心に、受け入れ態勢の整備と魅力の発信につながる活動を行う。

(31)東白川地方自転車活用推進事業

地域創生・市町村枠

新規

【実施団体名】 東白川サイクリング推進会議(東白川郡)

事業の目的

サイクリストの走行ニーズが高い東白川郡 4 町村が連携することで、走行できるコースの距離や必要な周辺施設などを確保するとともに、自転車の走行環境、サイクリストの受入環境、サイクリングルート沿線の魅力づくり等に取り組み、ハード・ソフト両面から世界に誇るサイクリング環境の創出、交流人口の拡大、地域住民の定着を目指す。

事業の内容

事業内容：

- 東白川自転車活用推進計画の策定
- 地域活性化シンポジウムの実施
- 自転車を活用したイベントの実施

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	10,000
補助金	-	-	7,999

＜奥久慈街道＞



＜講演会の様子＞



事業の成果・効果

- 東白川自転車活用推進計画を策定した。期間は令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間。
- 外部有識者より、自転車による地域活性化のみならず、東白川郡のブランディングなどについてもご教授頂いた。
- 地元住民参加型のイベント「散走(さんそう)」(散歩感覚で自転車を走らせ、その場所、その時間ならではの出会いや発見を愉しむひとつのスタイル) の開催。

今後の展開等

- 住民参加型イベントの継続
- 住民向け・お客様向け、各々にあった事業を展開し、東白川の素晴らしさを伝える。それらの事業を通じて団体の連携を図る。

(32)高齢者への移動販売及び、首都圏イベントでの地場産品 PR 事業

チャレンジ枠

新規

【実施団体名】 特定非営利活動法人表郷ボランティアネットワーク(白河市)

事業の目的

交通手段のない表郷地区の高齢者世帯・一人暮らし世帯を対象に生活必需品の買い物支援、及び県外のイベントで地場産品を PR し、地域の活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

- 高齢者への生活支援としてのお買い物代行・移動販売事業
 - ・月 2 回(第 2・第 4 火曜日) および高齢者の居場所(くつろぎルーム)で実施
 - ・平均利用 5 件
- 首都圏イベントでの地場産品 PR 事業
 - ・10/27 戸田市商工祭(埼玉県戸田市役所)

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	366
補助金	-	-	322

<お買い物代行業業>



<戸田商工祭でのPR>



事業の成果・効果

- 一人暮らしの高齢者の方々と信頼関係が築けたことで、電化製品やお米などの重いものなど生活に密着した注文を受けることができた。
- 戸田市商工祭(埼玉県戸田市役所)に出向き、地場産品を PR。また将来的な 6 次化商品に向け、おからパウダーを使用した「おから入り餅」の試作、試食を行った。
- 「社会福祉法人こころん」店長を講師に迎え、移動販売のノウハウ・6 次化商品開発についての勉強会を実施した。

今後の展開等

- できるだけ利用者の負担を軽くしながら、安心・安全のための生活を支えるサービス展開を図る。
- 今後の活動資金として 6 次化商品の開発を進める。

(33)もっちょり(持ち寄り)ば～ばのパラダイス and マルシェ

チャレンジ枠

新規

【実施団体名】 農村女性高齢者生きがいつくり支援の会(鮫川村)

事業の目的

子供から高齢者までの地域住民が楽しく集える場所をつくり、地域住民の生きがいつくりを行う。また、広域的な交流も密に行い、所得の向上と地域貢献を目標とする。

事業の内容

事業内容：

- 地域住民を対象とした農産物・加工品等の販売
- 他県からの訪問者を対象とした田舎暮らし体験

総事業費：

(千円)	H29	H30	R1
事業費 (補助対象)	-	-	1,450 (1,450)
補助金	-	-	1,248

<もっちょりば～ばのマルシェ >



< 販売所の様子 >



事業の成果・効果

- 高齢者の引きこもり防止や話題の提供、村の伝統食の見直し等に貢献した。
- 地元酪農家とのコラボ料理をおいしく楽しんで頂くための農産物加工機械の整備と直売所のスペース確保、プレハブハウスの設置を行った。
- 近隣の婦人グループや、行政、家庭教育インストラクター県南の会など、話を伺いたいと多数反響があった。

今後の展開等

- 農産物、加工品等の販売
- 田舎暮らし体験（ツアーの受け入れ）
- 地域の観光資源（強滝・古道・石仏など）を活かし1年中集客したい。